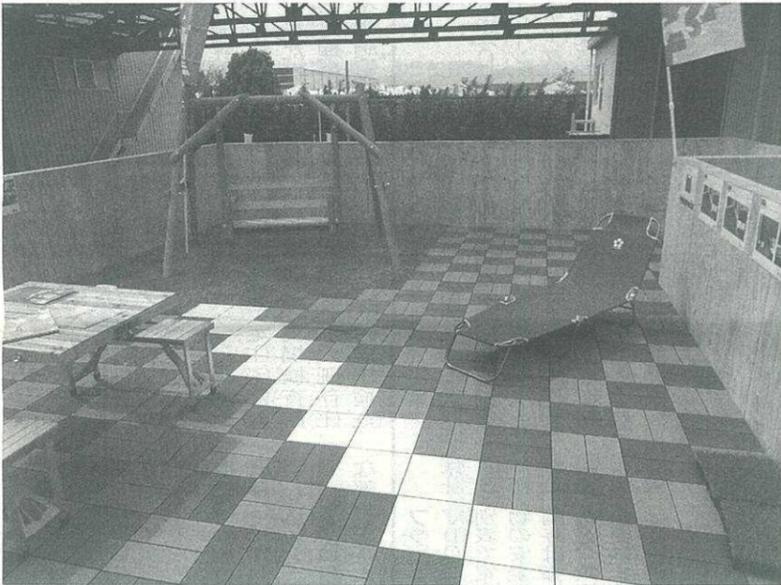


# 屋上再利用

# 屋上再利用で暮らしをもっと快適に

→新築&リフォーム相談会での屋上庭園のあるモデルハウス。木材は全て神奈川県津久井産材を使用



都市部で一般的に住宅を建てる場合、どうして土地代の高さなどから面積の確保が難しく、狭小住宅にならざるをえない側面がある。そうした場合、庭を作るのは難しく、できたとしてもかなり狭いものになるのは必然だろう。

そこで提案するのが屋上を広くとした庭にすることだ。鉄筋コンクリート住宅でなければ、難しいと思われていた、防水工法も近年は発達し、アスファルト代わりに真っ白な壁を設置すれば、夜間は塗膜防水、金属防水工法などが存在。木造住宅であっても屋上をラットな陸屋根で作ることが簡単にできるよ

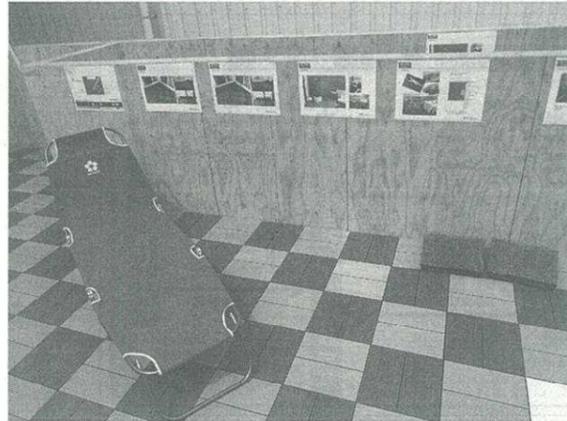
うになった。屋上を使用できれば、様々な用途に使うことができる、例えば防水加工のソファや椅子などを設置すれば、家族団欒の場所になる。飼ひ犬の放し飼ひも可能だ。映画鑑賞が趣味の人は、スクリーンを吊り下げて、まさに使い方は100人100様。そんな屋上再利用に関して、工務店も続々と注目を集めている。神奈川県にある、(株)模原木材センター(栗

「相模の家」ではモジュールとして片流れ屋根タイプと屋上庭園付きのタイプを作り、顧客に提案している。

ア構造」を採用し、耐力壁を建物の外部の四隅に配し外部部を頑丈にする。これにより、耐震性、耐火性、断熱性を確保している。



←プランコで遊んだり、日光浴も可能



「新築&リフォーム相談会」と題した展示会を開催した。会員工務店が5社、複数のメーカーも集まり、「失敗しない工務店の選び方」、「健康と月々のコスト(光熱費)」のテーマでセミナーも行なった。

同社が事務局を務める「相模の家」ではモジュールとして片流れ屋根タイプと屋上庭園付きのタイプを作り、顧客に提案している。

同社が事務局を務める「相模の家」ではモジュールとして片流れ屋根タイプと屋上庭園付きのタイプを作り、顧客に提案している。

快適な住宅づくり

## 改・省エネ基準 Q&A

増補改訂版 [平成26年]

日本住宅新聞社

日本住宅新聞社 待望の第2弾

既刊 好評発売中!

～2020年省エネ義務化のカギはこれだ～

快適な住宅づくり

## 改・省エネ基準 Q&A

[増補改訂版] 平成26年

本書は大好評のうちに完売を致しました、2013年3月発行の「改・省エネ基準 Q&A(平成25年版)」にその後の情報を加え、大幅に加筆・改訂。待望の第2弾として、この度発刊致しました。

A5版：130頁  
定価：650円(本体価格)+税  
発行：(株)日本住宅新聞社

お申込みは **FAX** で  
**03-3823-2566**

日本住宅新聞社  
管理部 書籍販売担当 行

|     |  |
|-----|--|
| 冊数  |  |
| 御社名 |  |
| ご氏名 |  |
| 御住所 |  |
| TEL |  |
| FAX |  |